

問い合わせ先
海洋情報部監理課専門官 川口孝義
082-251-5111 (内線 2511)



平成28年11月28日
第六管区海上保安本部



2017年版来島海峡の潮流情報の提供開始
～来島海峡の潮流が一目で分かる～

来島海峡航路は、世界で唯一潮流の向きによって通航経路を変える航路です。第六管区海上保安本部では、通航する船舶の運航を支援するため、来島海峡の潮流情報とそれによる航法(※)が簡単に分かる「来島海峡潮流情報2017」の提供を開始します。

この来島海峡潮流情報は、2017年の潮流予報値を1年間のカレンダー形式で表現しています。毎日の潮流の向きと強さを色で表示し、どちらの航路を通航しなければならないか一目で分かるようにしたものです。

ポスター版を操舵室など目につくところに掲示したり、ポケット版を携帯することで安全で効率的な航海計画の立案などに役立ててもらえるよう海事関係者に配布するものです。

名 称:「来島海峡潮流情報2017」

内 容:潮流の向きと速さを色と濃淡で表示。来島海峡の航法解説図も記載。

サ イ ズ:ポスター版 A2判 :ポケット版 A6判(折り畳み時)

発行部数:ポスター版及びポケット版各2,500部

入手方法:12月初旬から配布

当本部海洋情報部、管内海上保安部署で入手できます。

返信用切手を同封のうえ、第六管区海上保安本部「海の相談室」へ申込むことでも入手できます。

ポスター版は、以下のwebサイトからも入手可能です。

PCサイトURL:<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN6/>

※来島海峡航路の航法

- 1 潮が北へ流れるとき(北流) 潮に沿って北へ進む船は「中水道」を航行。
潮に逆らって南へ進む船は「西水道」を航行。
- 2 潮が南へ流れるとき(南流) 潮に沿って南へ進む船は「中水道」を航行。
潮に逆らって北へ進む船は「西水道」を航行。

「来島海峡潮流情報2017」のイメージ

＜ポスター版 表面＞



＜ポケット版 表面 折り畳み時＞



＜ポケット版 表面 展開時＞

来島海峡潮流情報について
来島海峡は、世界で唯一「瀬中遊覧(じゅんちゆうざんがい)」という特殊な観光を誇っています。この観光は、高低の異なる島々により海峡の地形が変わることで、船が漂流しやすくなる場合(瀬中の漂流)は発生しやすくなります。この「来島海峡潮流情報」は、来島海峡(中水間)における船舶の漂流の方向と流速の予測とその範囲に、船が漂流しやすくなる場合を示したものです。来島海峡を航行する際の参考としてご利用ください。

命を守る3つのポイント!
①ラジオポケット着用
②連絡手段の確保
③海のものも118番

問い合わせ
第六管区海上保安本部
【瀬の相談室】
〒734-8502 広島県尾道市尾道1-1-17
TEL 0834-25-1111
FAX 0834-25-1112
Web 9-0322 (http://www.kaiyo.jp/6th/PAGE/瀬の相談室.html)

来島海峡潮流情報のよみがた
来島海峡潮流情報のよみがたは次のとおりです。石の表示式のレンジャーご自身の潮流の方向情報またはオレンジ色と矢印の表示で記載しています。黄色は潮流が北向き(北流)を示します。オレンジは潮流が南向き(南流)を示します。色の濃いものはその範囲内の潮流の速さにも1ノット以上となる予想です。薄いものはその範囲内の潮流の速さにも1ノット未満となる予想です。色が白くなるほど、潮流が速く(北流)・遅く(南流)となります。上の図で、レンジャーが示した色と矢印が実行すべき潮流となります。なお、レンジャーが示す潮流は予想であり、実際の潮流と差異が発生することがあります。航行の際は、来島海峡海上交通センターが電光表示板で示す潮流をご確認ください。